

**令和3年度使用  
豊能郡地区中学校教科用図書  
選定理由書**

---

**令和2年度豊能郡地区教科用図書採択協議会**

## 国語 株式会社三省堂

- 「学びの道しるべ」で内容を整理し、自分の考えを深め、学びの振り返りができるよう学習の過程が示されており、非常に学習が進めやすい構成となっている。
- 「話す・聞く」「書く」「読む」の各言語活動において、人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養うことのできる内容となっている。
- 色覚の特性を考慮したカラーユニバーサルデザインの工夫に加えて、説明文などの補助的な手掛かりが工夫されており、情報も整理されている。
- 「読み方を学ぼう」のコーナーでは、「学び方」を習得し、活用する力がつけられるよう工夫されている。また、学年最初の説明文教材では、まず「読み方」を学んで、その後に活用して取り組む教材が設定されており、学習したことを生かすことができるような工夫がされている。
- 「話す・聞く」「書く」「読む」の各言語活動が、バランスよく行われるような配列となっている。
- 資料編ではメディア・リテラシー等、生活に生きる様々な資料が掲載されている。

## 書写 光村図書出版株式会社

- 学習の進め方が示されており、見通しを持って主体的に学習に取り組むことができる工夫がされている。また、「学習の窓」で学習のポイントが一目で分かるよう示されている。
- 各学年で適切な指導内容が取り上げられている。
- 書写ブック（別冊）があり、硬筆の課題をする上で特に効果的である。
- 毛筆で学習したことを同じねらいを持った別の硬筆で学べるように構成されている。
- UD書体を取り入れ、さらにコラムでUD書体の説明を設け、文字の見え方にも多様性があることについて解説されている。
- 毛筆教材は、半紙原寸大の掲載でわかりやすい。
- 楷書から行書、文字の使い分けを3年間通じて学習する配列になっている。

## 社会（地理的分野） 株式会社帝国書院

- 見開き2ページで構成されており、本文と資料の配置が見やすくわかりやすい。また、調べ学習や振り返り学習などで、生徒が一人で教科書を読んでも理解できるような分かりやすい表記がされており、因果関係もきちんと説明されている。
- 章や節ごとに「問い」が設定されている。また「地理的な見方・考え方を働かせて説明しよう」では、SDGsにつながる課題解決学習に取り組めるよう工夫されている。
- 生徒の発達段階を考慮した記述内容になっている。また、本文の語句や内容に対する解説や様々なコーナーが、思考の流れを意識した構成となっている。
- コラム「未来に向けて」が設置され、諸地域の多様な価値観や文化の共生をはかる人々の姿が紹介されている。
- 各節の冒頭部分の写真が大きくきれいであり、興味・関心を引く。日本の諸地域では、各地方の特産物や行事などを地図中にイラストで表している。写真やイラストは、「環境」「産業」「歴史」といった学習内容につながる

ようポイントが押さえられている。

○各節の地形図が標高差も含めて見やすく、地図帳でさらに確認をするときにつなげやすい。

## 社会（歴史的分野） 日本文教出版株式会社

○見開き 2 ページで構成されており、本文の分量とページ内にある資料とのバランスがよく、読みやすい。特に、各時代の文化の写真が多く掲載されており、特徴をつかみやすい。

○資料の中に「基本用語」が取り出されて掲載されており、わかりやすい。

○『歴史との対話』を未来に活かす』の中で具体的に「公民的分野の学習に向けて」というメッセージが書かれており、SDGs の実現に向けて考えることができるよう工夫されている。

○各編の最後には、年表と地図を使って振り返るようになっている。各章末にあるコラムとともに発展的な学習につなげやすい。

○特に江戸時代、幕末前の世界史と日本史の関係性がわかりやすく配列されている。具体的には、欧米列強のアジア進出とアヘン戦争を学習した後に、江戸幕府の「異国船打払い令」につながるところは、因果関係がわかりやすく授業の組み立てがしやすい。

○各ページに「学習課題」が設定されており、さらに「見方・考え方」というヒントが書かれていることによって歴史的に考えを深めていくポイントがわかりやすい。

## 社会（公民的分野） 日本文教出版株式会社

○様々な人権課題について具体的に実物（点字）も含め紹介されており、現代社会の中で広がりを見せる人権課題をていねいに説明している。

○見開き 2 ページで構成されており、やわらかい配色で、文章と資料の分量のバランスがよく、文章の文字に注目しやすい紙面となっている。また、図表の色づかいや構成が見やすく、理解しやすい。

○現代史年表や世界地図を巻末に設け、地理的分野と歴史的分野との関連がわかりやすく、発展的な学習につなげている。

○各章の最初に中学生が主役になった一場面を入れることで、公民の内容を身近に感じ、その中でその章の「見方・考え方」がわかるように工夫されている。

○各ページに「学習課題」が設定されており、さらに、「見方・考え方」というヒントが書かれていることによって公民的に考えを深めていくポイントがわかりやすい。

○各章の最後に、新聞記事から現代社会の見方・考え方を働かせながら時事問題について考えるコーナーが設けられている。また、シンキングツールを使ったまとめ方も紹介されており、多面的・多角的に考える力をつける工夫がされている。

## 地図 株式会社帝国書院

○A 4 版に大きくなったことで地名や歴史的な出来事、特産品など、より多くの情報が紙面に掲載されている。

○「地図活用」という地図を活用する学習方法が掲載されており、地図を読み取ることを通して、多面的・多角的

に考えることができるよう、工夫されている。

- 地形の様子を表す色合いと地名とのコントラストが良い。字がしっかり見え、地名などを探しやすい、地図帳として活用しやすい。
- 日本の各地方のページに防災に特化したコーナーがある。
- 地名の索引（世界・日本）に4000以上の地名が掲載されており、細かく調べることができる。
- 「世界の統計」の項目に貿易（輸出・輸入）などの経済活動に関わることが書かれており、様々な考察に必要な項目が精選されている。

## 数学 日本文教出版株式会社

- 1時間のめあてが示されており、生徒が学習のポイントを把握しやすい構成となっている。また、各学年の巻頭に「数学的な見方・考え方を身につけよう！」を掲載し、生徒に学習の意識づけをするとともに、各内容では「大切な見方・考え方」を色付けし注釈をつけるなど工夫されている。
- 各単元の導入に日常の具体的な場面が設定されていて良い。
- 「基本の問題」「章の問題」には標準的な問題から発展的な問題、対話的な学びの教材など幅広く問題が扱われている。また、前学年の復習や補充問題の問題量が適切であり、特に発展的な課題には、高校数学と関連付けられたものが設定されている。
- 各章の直前に「次の章を学ぶ前に」を設け、既習事項の確認ができるよう工夫されている。中学1年では「算数の確かめ」を設け、学習の連続性が意識されている。
- 巻末の「マイトライ」では、日常生活や仕事と数学との関わりをコラム記事にして掲載したり、「数学研究室」で学んだことを広げたり、深めたりする課題が設定されている。
- 「対話シート」を活用して、問題解決の過程を評価改善できるよう工夫されていて良い。

## 理科 株式会社新興出版社啓林館

- 見方・考え方を働かせながら探究の足場となるヒントを示すことで、主体的に考えやすいよう工夫されている。また、単元の導入が工夫されている。単元の学習に関連した身の回りの疑問について考えることで、学習の見通しが立てやすい構成となっている。
- 探究の流れをつかみやすい構成となっている別冊の「探Qシート」を利用して、自分の考えを主体的に書きこませることができる。
- 生徒が理解しにくい内容や誤解しやすい内容に、「例題」や「なるほど」が設定されている。生徒の誤概念を取り上げ、正しく理解するポイントが示されている。
- 学びを活かして日常生活に見られる現象を考察する場面が多く取り上げられている。
- 紙面にQRコードが300以上あり、デジタルコンテンツを活用して学びが広がるよう工夫されている。
- A4判サイズであり、見やすく読みやすい。大きい紙面であり、特に写真や図がわかりやすく、学習意欲の向上に配慮されている。小学校の採択教科書も同社のため、図、イラストに共通なものがあり、生徒にとって理解しやすい。

## 音楽(一般) 株式会社教育芸術社

- 基礎的・基本的な学習を踏まえ、より深まりのある学習や発展性のある学習にも取り組むことができるよう、非常に工夫されている。
- 主体的・対話的な学習を引き出し、課題意識をもって学びの質を深められるよう設定されている。
- 3学年を通して「声の出し方」が非常にわかりやすく説明されている。
- 楽典がリズムゲームを使って楽しく学習できるよう工夫されている。
- 創作や指揮について、説明や図でより詳しく説明されており、3学年を通して発展的に学習することができるよう配慮されている。
- 「生活や社会の中の音楽」では、学年に応じたテーマを設け、音や音楽と生活や社会との関わりについて考えられるよう工夫されている。また、少しずつ外の世界へと視野を広げることができる内容になっている。

## 音楽(器楽) 株式会社教育芸術社

- 基礎的な奏法を重視しつつ、生徒にとって親しみやすい教材が配置されている。また、生徒の心身の発達段階に即して学習が進められるように配慮されている。
- 学習の取り組み方をわかりやすく示した「深めよう！音楽」をはじめ、主体的・対話的で深い学びを実現するための活動が充実している。
- アルトリコーダーでは、導入のための曲が充実しており、基本練習から独奏・アンサンブルと段階的に配列されている。
- 「リコーダーの種類」や「楽器を知ろう」など生徒が興味をもって学習できるよう工夫されている。
- クラシックギターの取り扱いについて、写真など視覚的な工夫がみられ、「ギターを知ろう」や歴史・種類などわかりやすく説明されている。
- 魅力的なアンサンブル曲や創作など、生徒が協働しながら学習を進められるよう工夫されている。

## 美術 開隆堂出版株式会社

- 題材ごとに育成すべき資質・能力の三つの柱に基づいた「学習の目標」がわかりやすく書かれている。
- 写真と文章が見やすく、レイアウトが良い。原寸大の作品画像が掲載されており、使いやすい。
- 生徒が、造形的な視点を意識して表現や鑑賞の活動に取り組める内容が取り上げられている。
- 巻末資料で、材料や用具、表現方法の特性などを取り上げ、学習した内容を確実に習得できるよう補充している。
- 2・3年の「暮らしに生きる美術」などで、美術が社会で実際に活用されている事例を紹介している。
- 2・3年の表紙は名古屋城本丸の彫刻欄間になっており、その復元プロジェクトが表紙の中に続いて特集されていることで、美術鑑賞や将来の仕事についての授業に繋げていくことができる構成になっている。

## 保健体育 東京書籍株式会社

- 「見つける」「学習課題」「課題の解決」「本文」「資料」「発問」「活用する」「広げる」という学習過程の中で、見直しをもって学習できるよう配慮されている。
- 「活用する」では、普段の生活で体験するであろう事柄や話し合いやすい内容などに触れ、考えるきっかけをつくることで興味・関心を高めている。
- 感染症の単元では、「資料」としての挿絵や図・写真・説明がわかりやすく記載されており、非常に優れている。
- すべての生徒にとって使いやすくわかりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。
- 「章末資料」で「SDGs」を取り上げ、今日の国際社会共通の目標を理解し、学んだことと関連していることへの気づきに配慮されている。
- 巻末には重要な言葉の解説が設けられている。巻末には「学習のまとめ」として章末問題が設けられ、学習を振り返ることができる。

## 技術・家庭（技術分野） 教育図書株式会社

- 専門的な内容が豊富で伝統的な技術との関わりについて示されており、生徒の興味・関心を引くことのできる内容になっている。
- 「学ぶ」や「つくってみよう」などのマークが示されており、生徒が知識を学ぶ場面と活動する場面との切り替えがしやすいような構成となっており、主体的な活動が可能となる工夫がされている。
- 様々な分野で自習例が詳しく示されており、実習例を応用し、各校の状況に応じた様々な取り組みができる。
- 教科書に書き込んで考えられる箇所がたくさんあり、生徒が自分で考えまとめることのできる構成となっている。
- 巻末付録のハンドブックに必要な知識が簡潔にまとめられており、とても良い。生徒自身が重要なポイントを意識して学ぶことができる。
- 技術に関する原理や法則、基礎的な技術の仕組みを学べるよう、適切な内容が取り上げられている。

## 技術・家庭（家庭分野） 東京書籍株式会社

- 各節の目標設定の表示と「考えてみよう」「やってみよう」「調べてみよう」「話し合ってみよう」の設定により、主体的に学びに向かう力を非常に高めることができる。
- 原寸大の写真を用いるなど、実感を伴った学習ができるように工夫されている。
- 「プロに聞く！」や「学んだことを社会に活かす」が掲載されており、キャリア教育に連結した学習ができる。
- 「生活の課題と実践の進め方」では「イメージマップ」や「ダイヤモンドランキング」など、対話を助けるツールが提示されており、生徒がスムーズに活動できる仕掛けがある。
- 視覚的にわかりやすい資料が豊富であり、生徒の理解度を高めることができる工夫が見られる。
- 「学習のまとめ」では大切な用語を押さえるとともに出題方式になっており、生徒の振り返る時間の設定がされている。教師側としても確認をしながら進めることができるので非常に良い。教科書に書き込める形式がニーズ

にあっている。また、定期テストの手助けともなる。

## 英語 株式会社新興出版社啓林館

- 全てのパートにおいて4技能5領域に対応した目標が明示されており、生徒が何を習得することができるのかわかりやすく、学びに向かう意欲を育てることができる。
- 扱われている題材は、日本や世界で今起こっていること、実在の人物や実際の出来事などリアルなものが多く、生徒の興味・関心を引き出すものとなっており、その配列は、発達段階に適合して、身近なものから世界・未来・生き方を考えるものへと広がるよう工夫されている。
- 各Unitは、「とびら」「Part」「Read & Think」「Express Yourself」の順に構成されており、見通しを持って学習を進めることができる。その流れは、知識の習得から、豊富な語彙を用いての定着、知識を活用した自己表現へと段階的に取り組めるよう工夫されている。
- 各Unitにおける「Part」の本文の分量（語数）は、繰り返し音読をして理解できる適切な量である。「Read & Think」では、豊富な新出単語を扱い、まとまった文章を読むことで発展的な読解に取り組むことができる。
- 「Express Yourself」では、Unitのテーマに沿ったミニスピーチを、Listening → Writing → Speakingの3ステップで無理なく作成することができ、それを「Project」での5領域を活かした技能統合型の活動につなげることで、言語活動の充実を図ることができる。
- 文法事項が、3年間を通して易から難へ段階的・系統的に配列されていることに加え、バラバラに扱われやすい接続詞や助動詞、不定詞などがまとまって配列されているため、生徒にとっては非常に理解しやすく、定着を図りながら学習を進めることができる。

## 道徳 日本文教出版株式会社

- 人権尊重や生命の尊さについて多面的・多角的に考えられる教材が幅広く取り上げられ、全学年で人間としての在り方や生き方の考えをさらに深められるように取り扱われている。
- 安全、社会参画、環境、情報モラルなど、現代的な課題について幅広く取り扱われ、課題を自分自身のこととして捉えながら、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てることができるように配慮されている。
- 各学年とも、「本冊」と「道徳ノート」の2冊で構成されている。
- 「道徳ノート」に自分の考えを書き、学びの記録を積み重ねることで、自らを振り返って成長を実感することができる。さらに評価するときに成長を見取りやすい。
- それぞれの教材冒頭に登場人物や取り上げている実在の人物の写真などがあり、具体的なイメージを持って学習に入りやすい。
- 巻頭の「道徳科での学び方」で「気づく→考え、議論する、深める→見つめる、生かす」という問題解決的な学習の流れが示されており、取り組みやすい。